

花火の中でえいぞう計画

今戸 すず

この三〇年五月五日、今日のはじめの

「うち」う大花火の日です。わたしは十五

才のうち「うイベントたいです。

うち「う大花火というのは、火星から木星

土星、天王星に向けて花火をとばす大会です。

花火の中には子供の手のひらサイズのカメラ

が入っています。このカメラで木星と土星と

天王星の中にはどんなものが入っているのか

をしらべます。このイベントのようすは地き

「うに中けいされます。

花火でカメラをとばすことによつて小さい

子にも楽しんでもらえるようにくふうしてい

ます。だから子どもの日である五月五日に

イベントを開催することにしました。

うち「う大花火には小中学生かさんかでき

ます。わたしはイベントたいとして、みんな

が来る前にロケットで先に火星に行つて花火

のじ「人びをします。

「ポツポツとロケットが火星に着りくする音が鳴りました。」

「火星にいたぞー」  
「早く花火やりたいな」

「さんかしゃの明るいわ、ようじょうが見えませんでした。」

「ピーツとふえか鳴り花火の周りはあつというまに人びいっばいです。」

「ビュンビュンと花火かんとんで中にあるカヌーはおちこしまつて青いうちうをうつした

り、土星の中に入つてうまくえいぞうかたりします。うちうではさんをかなくともえるうちうせん用のとくべつな花火をつ

「花火はむらさき、ききみどり、オレンジのどれかです。どれか出るかはお楽しみです。」

「やかてせいげん時間の二十分がたちました。みうちう大花火楽しかったね。」

「またうちう大花火やりたいな」  
「どれか一番あたりやすかった？」

「いろいろなところから声か聞こえて来まし

夫。

さんかしやとイベントたい加地きゆうに帰  
たらどんなえいぞうか見られるのでしゅう  
か。